

地域力アップで 北海道の輝く未来を創生

日頃より私の活動に対し温かいお力添えを賜り、心より感謝申し上げます。能登半島地震、羽田空港での衝突事故で被害に遭われた皆さんに心よりお見舞い申し上げます。

エネルギーをはじめとする物価高騰対策、人口減少時代にあってもさらなる成長を実現できる社会経済の構築など、待ったなしの重要課題の解決に向けて、政策力と実現力に一層磨きをかけてまいります。

北海道の未来を輝かせるには、活力ある地域の実現が不可欠です。わが東区が地域力向上のエンジンとなるためにも、私が取り組み続けている丘珠空港の機能強化と地域の活性化、未来を担う子供たちのサポート体制の充実・強化に全力を尽します。

地域の皆さまの変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

北海道議会議員 渡邊 靖司

やすじ
わたなべ靖司の
プロフィール

●昭和31年3月5日生まれ、A型 ●札幌市立北園小学校、明園中学校、札幌光星高校卒業、東海大学(中退) ●株式会社 丸信ワタナベ代表取締役
【北海道議会】議会運営委員会理事、環境生活常任委員会副委員長、人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会理事【自民党道連】広報委員長など【現職】 ●東区北栄連合町内会 顧問 ●北栄東町内会 副会長 ●札幌村郷土記念館保存会 相談役 ●札幌市東区少年軟式野球連盟 顧問 ●日本犬ぞり連盟 特別顧問

わたなべ靖司政務調査室

〒065-0024 札幌市東区北24条東9丁目1-31 しみきまビル1階
TEL.011-750-1717 FAX.011-722-6677
<https://watanabe-yasuji.jp>

道政だより
vol.10

2024年3月発行



北海道議会議員(札幌市東区)

わたなべ
やすじ 靖司

「こどもホスピス」開設を 全力で後押し

余命を宣告された子供が最後に家族とともに過ごす「こどもホスピス」は、小児がんなどの病気と共に生きる子供にとっての安らぎの場として重要性が増していますが、北海道にはまだ正式に認められている施設はありません。

私は昨年6月の定例道議会でこの問題について質問し、早期開設に向けた支援のあり方などについて道の見解をいただきました。同12月には議員有志で横浜の施設「うみとそらのおうち」を視察し、運営上の課題などについて調査しました。調査結果をもとに、こどもホスピスの開設を全力で後押ししてまいります。



自民党会派の要請を受けて大きく進展!

学校エアコン整備費が決定

昨年9月に道議会自民党・道民会議が熱中症対策として鈴木知事に対して行った学校エアコンの整備に関する要請を受け、道は道立の高校全190校の普通教室と、特別支援学校全66校の普通教室と寄宿舎への簡易型クーラー設置、特別支援学校25校へのルームエアコン設置にかかる費用26億円を決定しました。私立学校についてもエアコン購入費への補助金拡充を求めるなど、記録的な夏の暑さから子供の命と健康を守る対策を推進してまいります。



札幌医科大学と道立総合研究機構を視察

山積する道政課題に切り込む

令和5年第4回定例道議会では、昨年12月8日と11日に開催された予算特別委員会で質問に立ちました。道が策定中の新たな総合計画、物価高騰の影響を受けるタクシー・貨物運送事業者などへの早急な支援、道の情報セキュリティ対策などの重要課題について、道の取り組み強化を促しました。

新しい総合計画について

渡邊 道が策定を進める新たな総合計画について、素案で示された「北海道の力が日本そして世界を変えていく」「一人ひとりが豊かで安心して住み続けられる地域を創る」という「めざす姿」の実現には、地域づくりを含め具体的な政策について全庁を挙げて検討を進めることはもとより、計画推進に向けた振興局を含む推進体制についても検討する必要がある。道の所見を伺う。

総合政策部長 計画の策定後も毎年度実施する政策評価を通じ、計画に掲げる指標の進捗状況や施策の推進状況などについて、全庁で点検・評価し、道民に示すとともに、新たに計画の中間年において政策の中間目標の達成状況などを点検する仕組みを導入し、計画の見直しを行うなど、計画の実効性が確保されるよう取り組む。

渡邊 道央圏への一極集中が今後も課題となることを踏まえ、地域との関係がより一層重要なことを前提とした計画の検討が求められる。

〈その他の質問項目〉 ●JR北海道への対応 ●情報セキュリティ対策 ●委託業務における不正防止対策

地域公共交通事業者・運送事業者臨時支援事業について

渡邊 バスやタクシーといった公共交通事業者やトラック輸送事業者にとって、燃料費は非常に大きなコスト要因であり、物価高騰の影響をとりわけ強く受けている。先日追加提案された価格高騰等経済対策に関連する補正予算を、こうした方々に一日でも早く届けることが重要。道は事業者に寄り添った早急な支援事業の実施にどのように取り組む考えか。今後の対応を伺う。



交通政策局長 道では、乗り合いバスなどの交通事業者やトラックによる貨物運送事業者が、今後も安定的に事業を継続できるよう、国の交付金を活用し改めて臨時支援を行うとした。本事業の実施にあたり、事業者に速やかに執行できるよう努める。

物価高騰への追加経済対策が決定!

道は長期化する物価高騰から道民の暮らしと産業を守ため、第4回定例道議会に追加経済対策を提案し、全会一致で可決しました。私も燃油・エネルギー価格高騰の影響を受ける一次産業や中小企業、ひとり親などへの支援強化にしっかりと取り組んでまいります。

追加経済対策の
主な内容

北海道お米・牛乳 子育て応援事業 第2弾

18歳以下の子供を養育する父母等
**1世帯
5,000円
相当商品券**
(申請期間 令和6年1~4月)

LPガス 利用者への支援

**1世帯当たり
2,000円値引き**

人手不足業種の 人材確保支援

就労者10万円
(+移動費 上限10万円)
道内企業10万円
(離職期間1年以上の者を雇用する場合は+10万円)

医療・福祉施設の 食材料費支援

・病院、有床診療所
・介護・障がい福祉施設
・保護施設
・児童養護施設

「観光立国」に向けて道外調査を実施



1月30日～2月2日、環境生活委員会による「観光立国・北海道」の確立に向けた道外調査を行いました。福井県立恐竜博物館で幅広い年齢層に支持される誘客の取り組みや、昨年で世界遺産登録30周年を迎えた姫路城で文化財保全の取り組みなどを調査しました。

上川管内の地域おこし活動を調査



1月24～26日、人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会の視察で上川地域を訪問しました。道内最大の望遠鏡を持つ名寄市立天文台「きたすばる」、キャビアや魚肉の製造販売を基幹産業にするための養殖事業を手がける美深町「チョウザメ飼育研究所」などを訪問し、自治体関係者との意見交換も行いました。



友好団体から意見や要望を聞き取り道政に反映



宅建政治連盟との意見交換会



令和6年度予算についての会合に出席